

スマホに代表される携帯端末の普及ほど、人々のライフスタイルに大きな影響を与えている技術(ツール)は近年ないだろう。「いつでも」、「何処でも」「簡単に」というユビキタスの利便さが、人々の行動様式を以前とすっかり変えてしまったかの感がある。

スマホを持ってさえいれば、外出の際に生じるちょっとした空き・待ち時間を無為に過ごさずに済むようになった。情報収集やゲームに興じるなどして時間を有為活用できるようになった。

携帯電話の出始めの頃のキャッチコピーである「日常生活のニッチな時間を有効に」というコンセプトは、今や完全に浸透したようだ。

今後は、私達がめざすべき「スマートライフ」の実現に向けて、日常のさまざまなシーンの中で、さらにどのような応用進化をしていくのか興味は尽きない。(A.N)

この編集後記を執筆している6月13日、サッカーのブラジル・ワールドカップが開幕した。日本代表は1998年のフランス大会から5大会連続の出場である。強豪クラブに所属する選手も増え、出場を重ねることで、徐々にワールドカップ予選を勝ち抜くことはあたりまえ、グループリーグを突破することは当たり前といった具合に、期待も大きくなってきている。

今回は期待を集める選手たちに加えて、開幕戦の

ブラジル対クロアチア戦の主審を日本人審判が担当するというので、西村雄一主審にも注目が集まっている。主審もグループリーグで評価され、決勝トーナメントの担当が決めるので、西村主審が決勝トーナメントで笛を吹くかどうかにも注目である。

Raisersが発行されるころにはワールドカップも終盤だが、選手と西村主審のどちらもブラジルに残っていることに期待したい。(T.R)

もう5月・6月から猛暑かよ…という日々がしばらく続いたが、今年は5年ぶりにエルニーニョ現象が発生、しかもそれが観測史上最大級らしいという事で、今年の夏は冷夏どころか殺人的なゲリラ豪雨が日本を襲う寒い夏になりそうとの予想がある。外れてほしいところだが、ゲリラ豪雨というヤツは非常に厄介で、屋外作業中や柱上作業中に突然襲われてもしたら作業者の命にかかわってしまう。

今号の記事でも「安全文化企業」、「安全と品質を最優先」、「第三者に対する安全・作業員に対する安全」などさまざまな取組みが紹介されているが、作業員の安全のためには気象予報の重要性を無視できない時代になったのかもしれない。

朝食時に天気予報を見るのは当然としても、その日の現場地域の気象予報はこまめに確認され、周囲が急に暗くなった時には電柱を降りる、MHから出るなど、身を守るために五感を働かせていただければと思う今日この頃……。(Y.H)

こんな時が危ない!

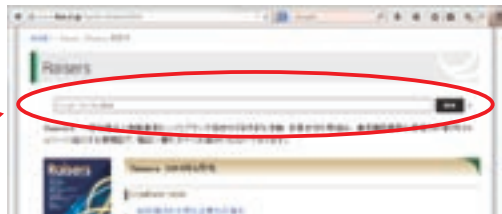
- 工事繁忙期よりも、終期、特に撤収作業時
- 非常に危険と思われる作業よりも、それほど危険と思われない作業時
- 同一作業が長く続くよりも、1日~2日とか半日、あるいはもっと短時間で終わる作業時
- わかりきった常識的な作業手順を守らない時
- 作業時に積極的な人が、指示以外の作業をした時
- 安全設備を取りつける段取りに取りかかる前
- 教育を十分うけているはずの職長や工事監督がルール無視の行動をした時
- 立入り禁止箇所、危険箇所を承知していて、そこへ行った時

「Raisers」はホームページでも閲覧可能です!

「Raisers」の最新号から過去記事までホームページで閲覧することができます。

<http://www.itea.or.jp/works/raisers.html>

また、ホームページ内の検索窓から読みたい記事の関連キーワードにより全文検索も可能です。是非ご利用ください。



Raisers第 62 巻 第 4 号(通巻第707号) 平成 26 年 7 月 5 日印刷 平成 26 年 7 月 10 日発行

定価 648 円(本体価格600円) ※会員、特別会員の本誌の購読料は、会費の中にこれを含む

■編集 一般社団法人情報通信エンジニアリング協会 〒150-0033 東京都渋谷区猿樂町3-3

Tel. (03) 3464-3211(代) Fax. (03) 3464-3216

■発行所 一般社団法人電気通信協会 〒163-1455 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー13F

Tel. (03) 5353-0184 Fax (03) 5353-0194

(本誌掲載記事の無断転載を禁じます。)